様式第２号（第8条関係）

特別貸付申込書

貸付番号 ＊記入不要	所属所名	組合員等 記号	組合員等 番号
	○　○　○	777	7777

組合員氏名	生年月日	年齢	組合員資格取得年月日	組合員期間
ふりがな　きょうさい　げんいち **共済　源一**	[✓ 昭和] 平成 ○○年　7月　7日	△△歳	昭和 [✓ 平成] 令和 ○○年　4月　1日	○○年　○月

郵便番号	住　所
777－7777	**○○○市○丁目○番○号**

1　給料関連申告事項　（短時間勤務職員は「給料」を「報酬」と読み替えてください。）

（１）給料減額状況　＊次のどちらかの□に✔を付け、給料が減額されている場合は該当する項目に○印を付ける。

☑ 給料減額なし

☐ 給料減額あり
- 療養休暇
- 介護休暇
- 育児部分休業
- 育児短時間勤務
- 休職
- 条例の規定による減額
- その他（　　　　）

（２）給料月額(円)　…A	200000
（３）減額後給料月額(円)…B	
（４）みなし年収額(円)　…C	3200000

給料明細等で確認（証明書類提出）

において給料が
減　　　　月額を記入。
＊部分休業者については、「部分休業者の減額後給料月額確認書」を添付。
＊「(4)みなし年収額（円）…C」は、
①給料減額に不該当：「(2)給料月額（円）…A」×16を記入。
②給料減額に該当：「(3)減額後月額(円)…B」×16を記入。

2　貸付関連申告事項

（１）貸付限度額

1200000

給料月額*6月（200万円限度）

（２）貸付事由　＊該当事由の番号に○印を付ける。

医療		[✓ 入学]				修学			結婚		葬祭
411 本人		421 高校	422 高専	423 各種学校		431 高校	432 高専	433 各種学校	441 本人	442 被扶養者	451 被扶養者
412 被扶養者		424 短大	[✓ 425] 大学			434 短大	435 大学		443 その他		452 その他

（３）貸付対象者

氏　名	組合員との続柄
共済　源二	**長男**

貸付対象者の扶養者認定の有無　[✓ 有]・無

扶養認定されていないときは、住民票等続柄を証明する書類を添付

貸付事由発生日　○○年　3月　1日

医療機関名（医療貸付の場合に記入。）

学校の名称（入学・修学貸付の場合に記入。）　**○○大学**　年制　4

（４）経費の内訳

学校からの入学金支払案内等を添付

①	入学金	300000円	①今回借入額	800000円
②	授業料	800000円	②自己資金額	300000円
③		円		円
④		円	④借　入　金 借入先（　　　　）	円
⑤		円	⑤その他 借入先等（　　　）	円
	合　計	1100000円	合　計	1100000円

（６）当共済組合等からの借入状況

①他の市町村職員共済組合または都市職員共済組合からの借入れについて

これまでに他の市町村職員共済組合または都市職員共済組合で貸付けを受けたことがあるか。
※貸付けを受けたことがある場合は、「貸付事故の有無に係る申告書」を添付。　ある・[✓ ない]

②新潟県市町村職員共済組合からの借入状況

	貸付種類	貸付事由	貸付番号	借入年月日	借入額（万円）	借入希望月の月末残高（円）	毎月償還額（円）	期末手当等償還額（円）
既借入分	普通貸付	車購入	2222	○○年 3月28日	100	654,321	8,874	0
	計						D 8,874	H 0
新規借入分	特別貸付	大学	★記入不要	○○年 ○月25日	80	★記入不要	8,432	0
							E 8,432	I 0

月初めに送付する「貸付金償還予定表」等により借入状況を確認。
既借入れがないときは「なし」と記入し、D.H欄は「0」を記入。

HP掲載の入学貸付償還表より、毎月償還額を記載

（７）他の金融機関等からの借入状況（すべての項目について、必ず「有（新規借入を含む。）・無」のどちらかに○印を付ける。）

金融機関等	借入状況	金融機関等	借入状況	金融機関等	借入状況
① 住宅金融支援機構	有・[✓ 無]	② 銀行	[✓ 有]・無	③ 労働金庫	有・[✓ 無]
④ 農業協同組合	有・[✓ 無]	⑤ 信用金庫	有・[✓ 無]	⑥ 信用組合	有・[✓ 無]
⑦ その他の公庫	有・[✓ 無]	⑧ 消費者金融	有・[✓ 無]	⑨ 信販会社	有・[✓ 無]
⑩ 地方公共団体による住宅融資等	有・[✓ 無]	⑪ 互助会	有・[✓ 無]	⑫ 個人	有・[✓ 無]
⑬ その他（　　　　）	有・[✓ 無]				

（８）他の金融機関からの借入状況の詳細（上記（７）で「有」にしたものについて記入し、償還表の写しを添付。）

	借入先	借入事由	借入年月日	借入額（万円）	借入希望月の月末残高（円）	毎月償還額（円）	期末手当等償還額（円）
既借入分	○○○銀行	教育ローン	○○年6月6日	100	521,098	10,000	30,000
	計					F 10,000	J 30,000
新規借入分	なし						
	計					G 0	K 0

既借入分・新規借入分とも、記載項目の全てを確認できる償還表の写しを添付。

（９）毎月償還額合計（D+E+F+G）	L 27,306	（１０）賞与償還額合計（H+I+J+K）	M 30,000

（１１）給料額に対する償還額の割合〔（L 　。）〕　13.65 %

（１２）みなし年収額に対する年間償還額　12.11 %

(11)･(12)いずれかが30%を超えるときは貸付不可

（１３）貸付金振込口座（＊裏面エを参照のうえ、組合員名義口座の金融機関名等を記入。）

金融機関番号	7777	支店番号	777	口座番号	普通口座　7777777
金融機関名	○○○銀行	支店名	○○支店		

新潟県市町村職員共済組合貸付規則に基づき、貸付けを受けたく申込みします。また、私の借入状況等は上記事実に相違ないこと申告し、次の事項に同意します。

一、この申告について、所属所長が確認すること。
二、裏面の記入上の注意を確認し、これに従うこと。
三、この申告と相違する場合は、共済組合の即時償還命令に従うこと。
四、申告内容の確認のため、全国市町村職員共済組合連合会から信用情報を取得することがあること。

新潟県市町村職員共済組合理事長　様

令和　○○年　○月　○日

印鑑登録証明書の印（実印）を押印

組合員氏名　**共済　源一**

登録印鑑　印

新潟県市町村職員共済組合貸付規則第８条第５項の規定に基づき、上記の記載事項及び関係書類を確認した結果、上記申し込みは事実に相違なく、適正なものであることを認めます。

新潟県市町村職員共済組合理事長　様

令和　○○年　○月　○日

○○○

所属所長　○　○　○　印

*裏面記入・提出上の注意を参照してください。

〔事務処理欄〕

貸付年月日	電算入力年月日	現在の学年	据置期間	在学証明提出日
			年　月　～　年　月	

償還回数	貸付限度額の確認	決裁欄	課長	係長	係	検認	決裁年月日

受付年月日

様式第２号（第8条関係）

特別貸付申込書

貸付番号 ＊記入不要	所属所名	組合員等 記号	組合員等 番号
	○　○　○	666	6666

組合員氏名	生年月日	年齢	組合員資格取得年月日	組合員期間
ふりがな　きょうさい　じろう 共済　二郎	[✓ 昭和]・平成　○○ 年　6 月　6 日	△△ 歳	昭和・[✓ 平成]・令和　○○ 年　4 月　1 日	○○ 年　○ 月

郵便番号	住所
666－6666	○○○市○丁目○番地○号

1　給料関連申告事項　（短時間勤務職員は「給料」を「報酬」と読み替えてください。）

（１）給料減額状況　＊次のどちらかの□に✔を付け、給料が減額されている場合は該当する項目に○印を付ける。

☑ 給料減額なし

☐ 給料減額あり
- 療養休暇　・介護休暇　・育児部分休業　・育児短時間勤務　・休職
- 条例の規定による減額　・その他（　　　　　）

（２）給料月額(円)　…A	300000
（３）減額後給料月額(円)…B	
（４）みなし年収額(円)　…C	4800000

給料明細等で確認（証明書類提出）

＊「(　」において給料が減　月額を記入。
＊部分休業者については、「部分休業者の減額後給料月額確認書」を添付。
＊「(4)みなし年収額（円）…C」は、
①給料減額に不該当：「(2)給料月額（円）…A」×16を記入。
②給料減額に該当：「(3)減額後月額(円)…B」×16を記入。

2　貸付関連申告事項

（１）貸付限度額

1800000

＊1か月15万円、1年180万円（Ⅱ-9修学貸付の月別貸付限度額について　参照）

（２）貸付事由　＊該当事由の番号に○印を付ける。

医療		入学						[✓ 修学]						結婚				葬祭	
411	本人	421	高校	422	高専	423	各種学校	431	高校	432	高専	433	各種学校	441	本人	442	被扶養者	451	被扶養者
412	被扶養者	424	短大	425	大学			434	短大	[✓ 435]	大学			443	その他			452	その他

（３）貸付対象者

氏名	組合員との続柄
共済　三郎	三男

貸付対象者の扶養者認定の有無　[✓ 有]・無

扶養認定されていないときは、住民票等続柄を証明する書類を添付

貸付事由発生日　○○ 年 2月　1 日

医療機関名（医療貸付の場合に記入。）

学校の名称（入学・修学貸付の場合に記入。）	年制
○○○大学	4

（４）経費の内訳

学校からの授業料支払案内等を添付

①	授業料	1560000 円	①今回借入額	1800000 円
②	家　賃	240000 円	②自己資金額	円
③		円	借入先（　　　）	円
④		円	④借　入　金 借入先（　　　）	円
⑤		円	⑤その他 借入先等（　　　）	円
合　計		1800000 円	合　計	1800000 円

（６）当共済組合等からの借入状況

①他の市町村職員共済組合または都市職員共済組合からの借入れについて

これまでに他の市町村職員共済組合または都市職員共済組合で貸付けを受けたことがあるか。
※貸付けを受けたことがある場合は、「貸付事故の有無に係る申告書」を添付。　ある・[✓ ない]

②新潟県市町村職員共済組合からの借入状況

	貸付種類	貸付事由	貸付番号	借入年月日	借入額（万円）	借入希望月の月末残高（円）	毎月償還額（円）	期末手当等償還額（円）
既借入分	普通貸付	車購入	3333	○○年 3月28日	200	890,123	17,747	0
	特別貸付	大学（三郎）	4444	○○年 4月26日	180	1,800,000		
	計						D 17,747	H 0
新規借入分	特別貸付	大学（三郎）	4444	○○年 ○月28日	180	3,600,000	25,952	0
							E 25,952	I 0

注！既修学貸付の毎月償還額はブランク

修学貸付償還表により貸付累計額の元利償還額を記入してください。

（７）他の金融機関等からの借入状況（すべての項目について、必ず「有（新規借入を含む。）・無」のどちらかに○印を付ける。）

金融機関等	借入状況	金融機関等	借入状況	金融機関等	借入状況
① 住宅金融支援機構	有・[✓ 無]	② 銀行	[✓ 有]・無	③ 労働金庫	有・[✓ 無]
④ 農業協同組合	有・[✓ 無]	⑤ 信用金庫	有・[✓ 無]	⑥ 信用組合	有・[✓ 無]
⑦ その他の公庫	有・[✓ 無]	⑧ 消費者金融	有・[✓ 無]	⑨ 信販会社	有・[✓ 無]
⑩ 地方公共団体による住宅融資等	有・[✓ 無]	⑪ 互助会	有・[✓ 無]	⑫ 個人	有・[✓ 無]
⑬ その他（　　　）	有・[✓ 無]				

（８）他の金融機関からの借入状況の詳細（上記（７）で「有」にしたものについて記入し、償還表の写しを添付。）

	借入先	借入事由	借入年月日	借入額（万円）	借入希望月の月末残高（円）	毎月償還額（円）	期末手当等償還額（円）
既借入分	○○○銀行	住宅貸付	○○年５月５日	3,000	23,456,789	30,000	100,000
	計					F 30,000	J 100,000
新規借入分	なし						
	計					G 0	K 0

既借入分・新規借入分とも、記載項目の全てを確認できる償還表の写しを添付。

（９）毎月償還額合計（D+E+F+G）　L 73,699
（１０）賞与償還額合計（H+I+J+K）　M 100,000
（１１）給料額に対する償還額の割合〔（L　。）〕　24.57 %
（１２）みなし年収額に対する年間償還額　22.59 %

(11)・(12)いずれかが30%を超えるときは貸付不可

（１３）貸付金振込口座（＊裏面エを参照のうえ、組合員名義口座の金融機関名等を記入。）

金融機関番号	6666	支店番号	666	口座番号	普通口座　6666666
金融機関名	○○○銀行	支店名	○○支店		

新潟県市町村職員共済組合貸付規則に基づき、貸付けを受けたく申込みします。また、私の借入状況等は上記事実に相違ないこと申告し、次の事項に同意します。
一、この申告について、所属所長が確認すること。
二、裏面の記入上の注意を確認し、これに従うこと。
三、この申告と相違する場合は、共済組合の即時償還命令に従うこと。
四、申告内容の確認のため、全国市町村職員共済組合連合会から信用情報を取得することがあること。

新潟県市町村職員共済組合理事長　様

令和　○○ 年　○ 月　○ 日

印鑑登録証明書の印（実印）を押印

組合員氏名　共済　二郎　登録印鑑　印

新潟県市町村職員共済組合貸付規則第８条第５項の規定に基づき、上記の記載事項及び関係書類を確認した結果、上記申し込みは事実に相違なく、適正なものであることを認めます。

新潟県市町村職員共済組合理事長　様

令和　○○ 年　○ 月　○ 日

所属所長　○○○　○ ○ ○ ○　印

*裏面記入・提出上の注意を参照してください。

〔事務処理欄〕

貸付年月日	電算入力年月日	現在の学年	据置期間	在学証明提出日
			年　月　～　年　月	

償還回数	貸付限度額の確認	決裁欄	課長	係長	係	検認	決裁年月日

受付年月日